

持続可能なまちと交通をめざす 再生塾 のご紹介

➤まちづくりや交通の問題の解決に取り組む**行政・地域・企業等の実務者**を対象、理論・実践に関する情報を提供し、**参加者相互の対話・交流**を通して“**ビジョン**”と“**夢**”を共有し、持続可能なまちと交通の推進に寄与することを目的として、故北村隆一先生が提唱され、2007年度から活動を開始

➤**人的ネットワークを構築**

➤**まちづくりの理論・技術を学ぶ場**

➤まちづくりの支援・提言

➤陣容 LF24名：大学8・コンサル7・
行政5・交通事業3・議員1

➤会員数【正23・賛助50】



故北村隆一先生

なぜ？ 再生塾

➤なぜ “まち”と“交通”の問題は解決しないのか



“クルマ”から“公共交通”への移行はライフスタイルの転換を意味する

お金で買えないものこそ、私たちの暮らしを豊かにする

➤社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）の重要性の認識

- ・われわれが持っている**人間のネットワーク** ・ソーシャル・キャピタルは私的財を補完し、人々の幸せに寄与する
- ・「資本」であるからには「投資」が必要

➤実証・実践⇔理論化の営為が希薄（コンテンツとプロセス）

- ・何をやるか（理論・知識）と **どうやるか！（実証・実践）**

京都精華大学・福岡正蔵氏講義資料より

- 学術知（一面性・三人称性・状況遊離性） ……大学院
- **実践知**（全体性・相互主観性・状況依存性） ……**実社会**
 - 理論知を状況にうまくあうように翻訳し直す必要
- 求められる能力（社会人基礎力）
 - 前に踏踏み出す力 •考え抜く力 •チームで働く力
- 特に主体性・実行力 不足なのは課題発見力 •創造力
- 教育スタイルの変化

「知識伝授」型 →「学習支援」型 →「**互学互修**」「半学半教」

そこで再生塾！

- 社会人・実務者の学びの場・ネットワークの提供

基礎編：交通政策を体系的に学ぶ

アドコース：事業実施のプロセス、コミュニケーション力、実践力を高める

・ ・ 発言の機会の確保、相互理解

- 互学互修の教育モデル

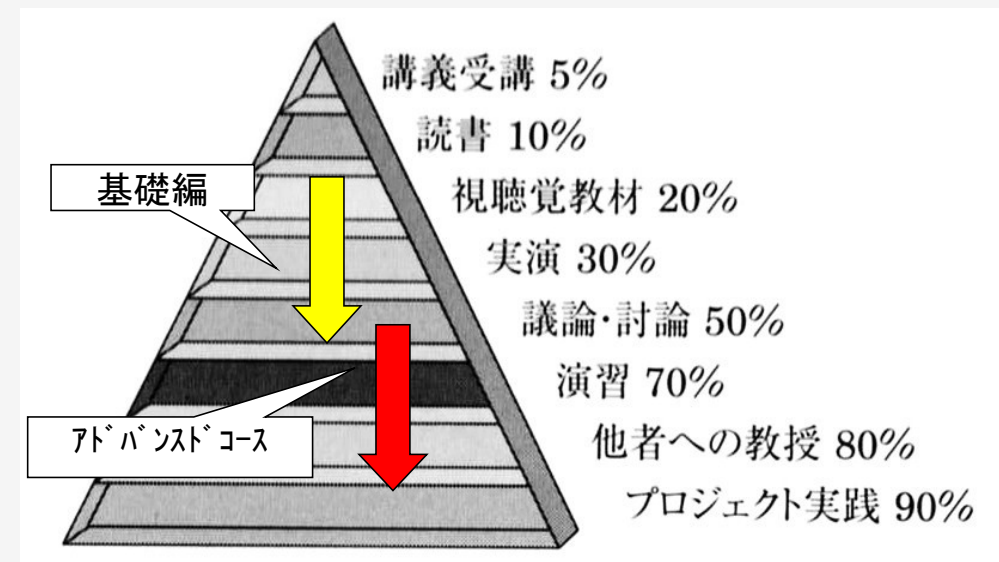
自学自習する人々が相互に関係しながら学び合い教え合うスタイル

- チーム学習

多様な参加者が混じり合うチーム編成
ビジョンを共有化、固定観念を払拭、
チームワーク、データの活用

- ラーニングファシリテーター

「質問」により学習をリード



出典：妹尾堅一郎・美馬のゆり2003を修正⁷⁾に加筆

再生塾の活動（2023年）

- イブニングセミナー（5月12日、・・・）
- **基礎編** ワンデーセミナー（5月20日）
- **アドバンスドコース**（7月29日～12月9日）

特定のフィールドをベースに、塾生同士やフィールド、周困との議論を通じて問題解決への提言を目指す
フィールド：JR草津線・近鉄バス

- **議員セミナー**（8月2日） 地域問題への対応例や手法など、地方議員を対象としたレクチャー
- **技術セミナー**（9月9日） 地域データの活用や理論的アプローチなど、技術的手法を学ぶ
- **議員セミナー**（10月30日：ローカル鉄道編）
- 北陸ワンデーセミナー（11月19日）

その他（アフター再生塾）

- 日本酒探訪会、競馬部、甲子園部、OB会・・・
- 会員サービス（アドバイス）



2023 再生塾アドバンスドコース最終報告会

総合的な交通政策を進めるために

基礎編セミナーのご案内

～初めて交通政策を担当された方や改めて基礎的な知識を学びたい方

このたび、特定非営利活動法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾(略称：NPO法人再生塾)では、主に地方自治体の交通政策担当、交通事業者の計画担当、交通政策プロジェクトを推進されるコンサルタントなど、交通やまちづくりの実務者の皆様を対象として、「令和5年度(2023) 再生塾 基礎編セミナー」を開催いたします。

この塾は、より望ましい持続可能なまちと交通をすすめるために、有用な理論的実践的情報提供、取り組みの支援、人材育成、技術の普及、交流などを行うものであり、2007年度から毎年開催し、参加者の皆様から好評をいただいています。

初めて交通政策を担当される方、既に交通政策を担当しているが、あらためて基礎的な知識を勉強されたい方などを対象として、持続可能なまちと交通、なかでも総合的な交通政策をすすめるための実務に直結する幅広い知識をわかりやすく講義いたします。

意欲ある皆様方のご参加をお待ちします。

特定非営利活動法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾 理事長 村尾 俊道

●プログラム

1	レクチャー	我が国の公共交通の現状・問題	(一社)システム科学研究所	東 徹
2	レクチャー	公共交通の実践知識	近畿運輸局	中井 睦
3	レクチャー	再生塾フィールドにおける成功体験・失敗体験	神戸市 交通局	児玉 健
4	意見交換	昼食をとりながらグループワーク「私の問題意識」		参加者全員
5	討 論	再生塾サミット 再生塾中枢メンバーが語る「私の問題意識」	土井 勉 正司健一 大藤武彦 村尾俊道 進行:西堀泰英	
6	意見交換	グループ・ワークー問題解決に向けてー		参加者のみなさまから

※講師陣は、各地の自治体等の交通政策に実際に取り組んでいる実践的な研究者たちです。(詳細は裏面)

※原則対面参加で開催します。

申込締切:5月18日(木)

●概要

日程	令和5年5月20(土) 10:00～17:00
定員	60名(先着順)
参加費用	Peatixから申込み 4,000円 ※NPO法人再生塾会員及び賛助会員は無料 事務局に直接申込み 5,000円 ※詳細は裏面に



アドバンスドコースのご案内

「再生塾」では、総合的な交通政策に係る計画策定や事業推進に有用な理論的・実践的情報を提供し、グループワークを通して参加者が「ビジョン」と「夢」を共有する「塾(セミナー)」の活動を進めています。「アドバンスドコース」は、「基礎編」相当の基本的な考え方や基礎的な交通技術を習得している方、または数年程度の実務経験をお持ちの方を対象として、実際のフィールドでのケース・スタディを通し、数回にわたって実践的な研修を行います。


意欲のあるみなさまのご参加をお待ちいたします。

特定非営利活動法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾 理事長 村尾 俊道

●概要

期間	連続講座(計6回)、令和5年7月29日(土)～令和5年12月9日(土)
定員	20名(申込制)
フィールド	滋賀県(JR草津線沿線) または 近鉄バス
参加費用	2万円/コース ※NPO法人再生塾の正会員は無料、賛助会員(入会金1万円+年会費5千円)の新規加入者は初年度に限り無料(次年度以降は参加費1万円)で参加いただけます。 ※納金方法は、参加決定通知時にお知らせいたします。(納金方法は相談に応じます)
対象	主に自治体交通政策担当者、交通事業者、コンサルタントなど、実践的な研修を希望する方
主催	:特定非営利活動法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾
後援(予定)	:国土交通省近畿運輸局/公益社団法人土木学会/公益社団法人日本都市計画学会関西支部 (一財)地域公共交通総合研究所

●日程

	日時	会場	概要
第1回	7月29日(土) 10:00～17:00	大阪府立男女共同参画・ 青少年センター(ドーンセンター)	開講式、オリエンテーション、 研修計画、各コースの政策課題の共有等
第2回	8月～9月 (各グループ別)	現地	現地視察、調査 
第3回	9月9日(土) 10:00～17:00	マイドームおおさか 第3会議室	技術セミナー 現地調査のようす(2011)
第4回	10月14日(土) 10:00～17:00	大阪府立男女共同参画・ 青少年センター(ドーンセンター)	現況把握、現状認識と課題共有
第5回	11月11日(土) 10:00～17:00	β本町橋	中間報告、課題と政策の方向性に係る 意見交換等
第6回	12月9日(土) 10:00～18:30	大阪府立男女共同参画・ 青少年センター(ドーンセンター)	報告会、提言に向けた取り組みに係る 意見交換等、閉講式

再生塾の実際（アドバンスドコース2023）

概要	交通政策や交通技術に関する知識と経験をもっている方を対象として、より実践的にフィールド研修を通じた実践的研修を行う。
参加方法	・参加対象：主に自治体交通政策担当者、交通事業者、コンサルタント、「実践的な研修に参加を希望する方」 ・参加申込みに際してレポート提出 ・参加費：20,000円
内容	①スケジュール 7月～12月の月1回の研修(計6回) ②研修対象フィールド ・JR草津線 ・近鉄バス ③グループワーク 4～5名のグループにLF(ラーニングファシリテーター)2～3名がついて、現地調査、課題抽出、将来像を描き、実現可能な具体の提案を対象組織にフィードバック



再生塾の実際（アドバンスドコース2023）



※上記各種会議以外にも、メンバー間で集まり、メール等が飛び交います

定量的な検討力を向上したい方のために

技術セミナーのご案内

『再生塾—持続可能なまちと交通をめざして』では、交通政策に携わる行政団体、コンサルタント、交通事業者、学生の皆様などを対象として、総合的な交通政策や地域の交通問題を主導して計画策定や事業を推進するために有用な理論的・実践的情報を提供し、参加者相互の意見交換を通して“ビジョン”と“夢”を共有する『塾』の活動を進めています。

実際のフィールドにおけるケースを取りあげて実践的な『提言』を取りまとめるアドバンスド・コースの中で、定量的な検討力の向上を目指し、調査手法、既存データへのアクセス方法、分析方法、表現方法等についてレクチャーする「技術セミナー」を実施します。


「技術セミナー」のみの参加も受け付けいたしますので、総合的な交通政策の推進に意欲のある皆様の参加をお待ちします。

特定非営利活動法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾 理事長 村尾 俊道

●プログラム

1	レクチャー	交通関連データの基礎	京都大学教授	宇野 伸宏
2	レクチャー	都市交通関連データの最新情報	(株)日本海コンサルタント	塩土 圭介
3	レクチャー	データの使い方と活用	中央復建コンサルタンツ(株)	白水 靖郎
4	レクチャー	コミュニケーション	(一社)システム科学研究所	東 徹
5	レクチャー	科学的推論・科学的思考法	神戸大学教授	小池 淳司
6	意見交換	グループワーク		

●概要

日程	令和5年9月9日(土) 10:00~17:00	
定員	20名(先着順)	
参加費用	10,000円 ただし、NPO法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾の正会員は無料、賛助会員は参加費5千円で参加できます。事務局に直接申し込みの場合は、事務的経費(1,000円)を頂戴し、参加費を11,000円とさせていただきます。	

申込締切:9月8日(金)

セミナーの様子

議会「一般質問」のレベルが見違えるほど変わります

地域公共交通政策セミナー（ローカル鉄道編）のご案内

～公共交通の再生に向けた地方議会議員のみなさまのための研修会

人口減少・少子高齢化の進行やコロナ禍の影響、そして自動車社会の進展に伴い、地方部の鉄道線が苦境に立たされ、存続の危機に陥っています。

こうした問題に対応するため、鉄道を中心とした交通政策の基本的な考え方や先進事例、計画手法等を知りたいという声を多くの地方議会関係のみなさまからいただいています。

「再生塾」では、こうした声にお応えし、主に地方議会議員の方を対象としたワンデーセミナー（ローカル鉄道編）を開催します。意欲のあるみなさまのご参加をお待ちいたします。

特定非営利活動法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾 理事長 村尾 俊道

- ローカル鉄道の上下分離方式 ●廃線が延命か再生か ●三セク鉄道の赤字、縮小・廃止 ●JR線の廃線問題 ●JR線の大幅減便 ●鉄道沿線の活力低下 ●総合的な交通政策や戦略が必要
- 観光振興をめざしている こういった課題を抱える自治体で、都市政策・交通政策・環境政策・観光政策等にご関心のある議員のみなさまを対象とし、少人数制にて、各々が現場で直面する実際の課題をお聞きし、触れながら、講演と意見交換を通して、さまざまな視点を提供します。

●プログラム

1	レクチャー	鉄道・まちづくりの総論	(一社)グローバル交流推進機構理事長	土井 勉
2	意見交換	私の問題意識		参加者のみなさまから
3	レクチャー	我が国の鉄道政策の歴史と財政負担	神戸大学大名誉教授	正司 健一
4	レクチャー	観光まちづくりによる鉄道再生	NPO法人再生塾理事長(元京都府交通基盤整備推進監)	村尾 俊道
5	レクチャー	自治体行政の視点からみた「R」地方路線の再生可能性	京都大学名誉教授・富山大学特別研究教授	中川 大
6	意見交換	質疑応答「持続可能なまちと地域公共交通-課題解決に向けて-」		上記講師

※講師陣は、各地の自治体等の交通政策(鉄道政策)に実際に取り組んでいる実践的な研究者たちです。(詳細は裏面)

●概要

日程	令和5年10月30日(月) 10:00~17:00	
定員	20名(先着順)	
参加費用	20,000円(誠に恐れ入りますが、手数料をご負担の上、お振り込みください)	
対象	主に地方議会議員(※地方議会議員以外の方も受講していただけます)	

申込締切:10月22日(日)

セミナーの様子

実績は

これまでの
延べ参加者
約1,500名

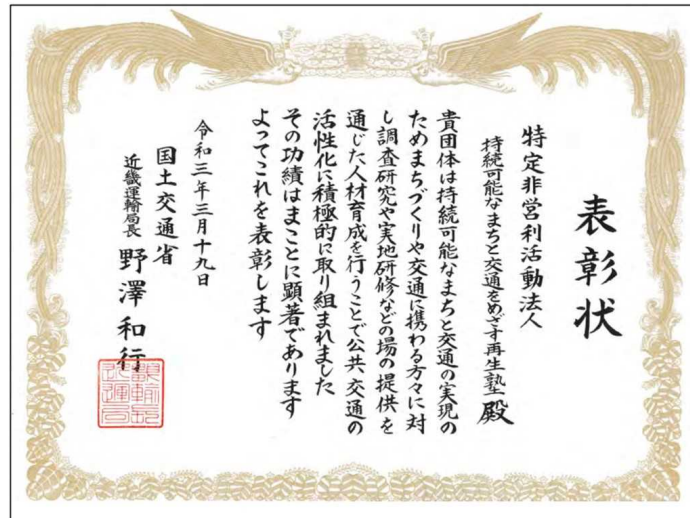
これまでの
アドコースフィールド
延べ32

年度	フィールド	区分
2008年	大阪市交通局「赤バス」	交通事業者
	京福電鉄嵐山線	交通事業者
2008年・2009年	京田辺市（京都府）	自治体
2009年	富田林市（大阪府）	自治体
2010年	叡山電鉄	交通事業者
	川西市（兵庫県）	自治体
2011年	KTR北近畿タンゴ鉄道	交通事業者
	長岡京市（京都府）	自治体
2012年	京都バス	交通事業者
	河内長野市（大阪府）	自治体
2013年	水間鉄道	交通事業者
	にしきた商店街（兵庫県西宮市）	自治体
2014年	京都京阪バス	交通事業者
	大阪市生野区(大阪府)	自治体
2015年	神戸電鉄	交通事業者
	茨木市（大阪府）	自治体
2016年	北条鉄道	交通事業者
	尼崎市（兵庫県）	自治体
2017年	神戸市北区（兵庫県）	自治体
	天川村（奈良県）	自治体
2018年	和歌山バス	交通事業者
	竜王町（滋賀県）	自治体
2019年	西日本ジェイアールバス 園福線（京都府）	交通事業者
	奈良市柳生（奈良県）	自治体
2020年	阪神バス	交通事業者
	守口市（大阪府）	自治体
2021年	京阪京都交通	交通事業者
	明日香村（奈良県）	自治体
2022年	神姫バス（姫路市域）	交通事業者
	東近江市（滋賀県）	自治体

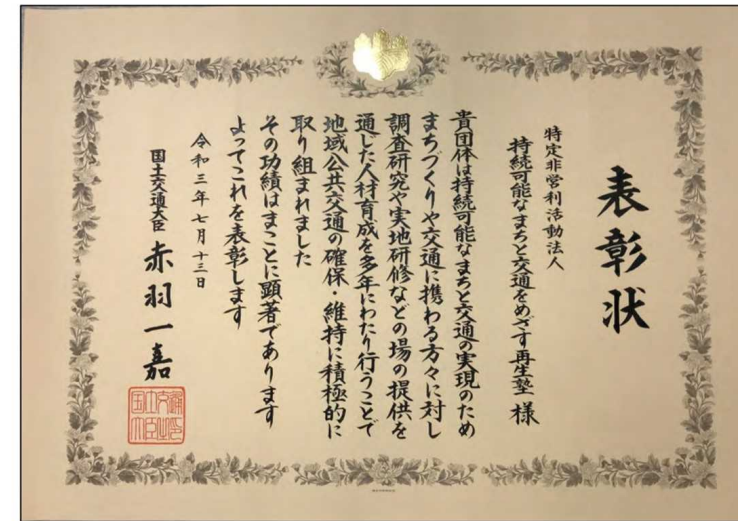
受賞歴



2017年JCOMM プロジェクト賞



2020年度
近畿運輸局長
地域公共交通優良団体表彰



2021年度
国土交通大臣
地域公共交通優良団体表彰

【表彰選定にあたってのポイント】

- ① 住民、NPO、企業等の地域の多様な主体が、地域公共交通に関する取組に参画していること。
- ② 地域の実情に合った創意工夫が凝らされていること。
- ③ 事業の今後の自立性・継続性が見込まれていること。

都市における路線バスの新たなサービスに 向けた課題～急行着席型バスの運行について～

尾崎 友彦¹・辻堂 史子¹・辻 寛¹・山本 真哉¹・嶋田 真尚¹・東 徹²・
片岡 伸悟¹・畑中 則宏¹・加納 陽之助¹・亀谷 義忠¹・長谷川 吉典¹

¹特定非営利活動法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾2012年度アドバンスドコース受講生

²特定非営利活動法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾 Learning Facilitator

(〒532-0011 大阪市淀川区西中島七丁目1-20-801)

E-mail:kaiin@saiseijuku.net.

本稿では、利用者の多様なニーズに対応したバスサービスの提供を進める視点から、着席率の向上や急行化などの新たなサービスを導入することによって、都市における路線バスの利用促進を図ることを目的として、急行着席型バスの実現可能性についての検討を行った。

具体的には、急行着席型バスが有効な形態や、着席率向上に必要な車両の要件・急行化のメリット、事業採算性の確保のための柔軟な運賃設定の必要性等を検討した。

さらには、京都バスを事例として、ダイヤと運賃の設定を行い、現地調査などから把握した所要時間や利用者数をもとに採算性を試算した。この結果、時間短縮分の効果を上乘せした付加価値に見合う運賃設定により、実現の可能性があることを明らかにした。また、実現にあたっての現行制度の改変の必要性を示した。

京都バス 2012年 アドコー スの皆様 からの ご提言

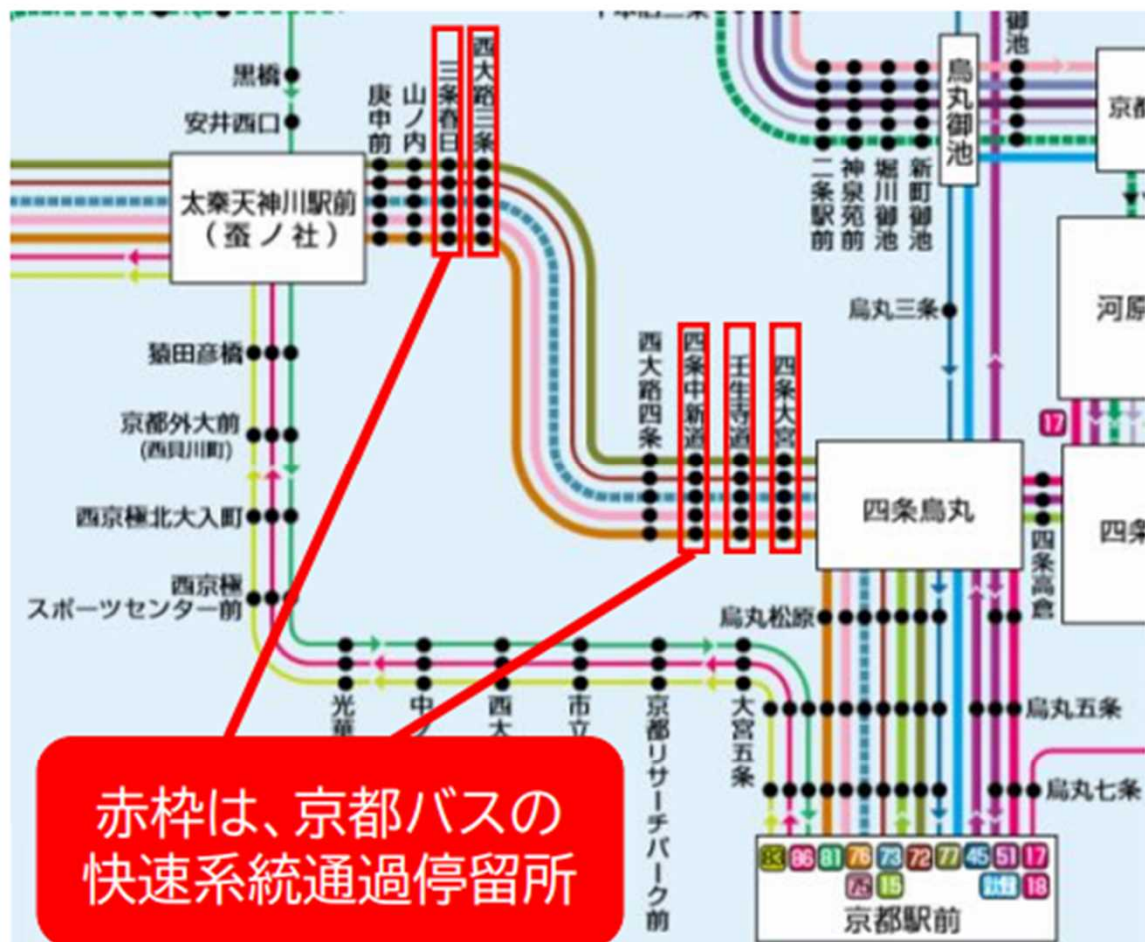
再生塾・神戸市交通局
児玉氏資料

こんなご提言でした

- **拠点間輸送**（市街中心と郊外）の**ウエイト**が高い。
 - **フィーダー輸送への転換**を図るべき！
- マイカーや鉄道との**競争**が生じている。
 - なぜ**バスに乗らない**のか
 - 「**座れない**／混雑」「**遅い**／定時性」を克服「**急行着席型バス**」
 - 「速い！」「座れる！」に見合う**料金を付加**しては？
 - 急行することでバスの回転率UP！削減コストで、**現行運賃**でも採算性の維持が可能に！

提言をカタチに！

速達性ある「快速系統」を、京都市バスとの役割分担を図りながら設定



京都市バス
11号系統

太秦天神川駅方面
～四條烏丸間、各停運転



京都バス
快速系統

太秦天神川駅方面
～四條烏丸間、快速運転

できた(^^♪

★急行運転

車両そのままOK
行先表示だけ新製

市バスと機能分担が奏功

★フィーダー輸送

地下鉄駅拠点の輸送体系へ
一斉に変えず、徐々にシフトする作戦
鉄道（特に地下鉄）側の理解と協力

できなかった(;_;)

★着席型輸送

座席数の多い車両でないと採算ライン
の乗車人数にならない

→観光バス型のような車両要

→ところが

観光バス型の車両で乗合運行する
ことに法的制約あり

「指定席券」をどのように発売するか

「駅」がないバスの弱み

「提言」があったからこそ、
チャレンジ／「出来る・出来ない」の議論が出来た！

2019年フィールド

西日本JRバス・園福線



- 京都府中部**2市1町**を結ぶ、総延長 5 1 k m
- **赤字**基調、7 ~ 1 3 往復 / 日、利用の中心は沿線の高校生
- 路線の中央部にある京丹波町にとって、**他市**（福知山市、南丹市）と連絡する**唯一のバス路線**
- 将来の存続が危ぶまれる、いわば「過疎路線」
- 「園福線 A チーム」 「園福線 B チーム」が**難題に挑んだ!**

塾生の提言が、カタチに！ その①

【Aチームの提言】

園部駅発のバスダイヤがバラついていて、使いづらい。

日中のJR嵯峨野線の快速電車到着に接続し、

毎時**52**分発にすれば使いやすいのに！



令和2(2020)年4月のダイヤ改正で

園部駅**9:52**～**19:52**までのバス**9**便が

すべて「**52分発**」となり、JR下り快速電車に接続！！

塾生の提言が、カタチに！ その②

【Bチームの提言】

地元の皆さんと一緒に考えたラッピングバスを走らせて、地域との一体感を作ろう！！

令和2(2020)年8月から
京都府と連携し地域をPRする
ラッピングバス運行開始！



「森の京都」ラッピングバス

塾生の提言が、カタチに！ その③

【Aチームの提言】

すこしでも収入を上げて収支改善するため、
乗客の少ない土休日に**貨客混載**にチャレンジしよう！



令和2(2020)年5月24日～日祝日、
福知山駅→柳瀬(三和郵便局)間で
日本郵便の貨物を**バス**で輸送！！



塾生とフィールドの「共創」

2020年フィールド 阪神バス

【阪神バス】自動車教習所の無料送迎を路線バスで代替 (兵庫県尼崎市)

PG.7.31実施

阪神バス株が、路線が重複する自動車教習所の無料送迎を乗合バス路線で代替



三方にメリット

教習所

- ・無料送迎コスト削減
- ・交通事故リスク回避
- ・より広範囲からの集客

阪神バス

- ・新規の運行コストなく固定収入を確保
- ・新たな路線バス利用のきっかけを創出

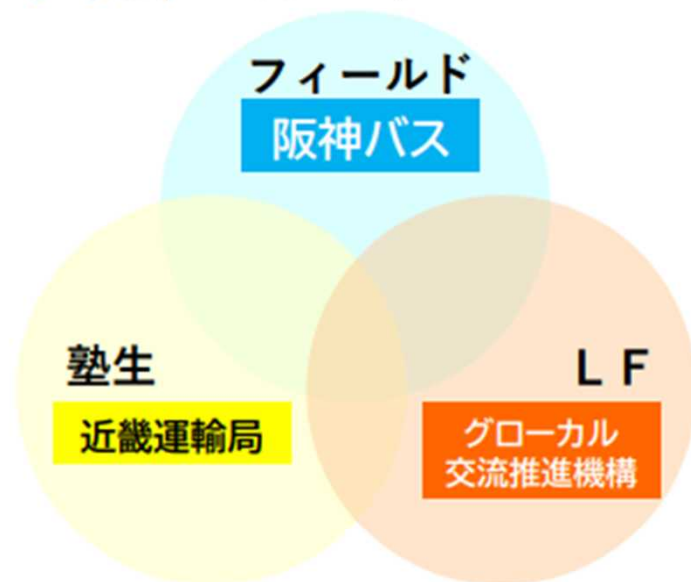
教習生

- ・乗降停留所が増加し、わかりやすくなり、利便性が向上
- ・より安心安全な乗合バスを利用可能

企業等の送迎の安全性や利便性の確保、乗合バス事業の持続性向上を期待

運命の？

出会いはアドコース!



再生塾・神戸市交通局児玉氏資料

出典：第17回JCOMM発表資料

塾生みなさんの
自由な発想 熱い想い

仕事じゃない
自身の意思での
チャレンジ

プレイヤー(地域、事業者)の方々の
共感

しっかり
考える

きちんと
伝える



「できっこない」を、「どうやれば出来るのか?!」へ

「考えたこと」「提言」が、カタチになる!!

交通上の諸問題の緩和に対する 実質的貢献

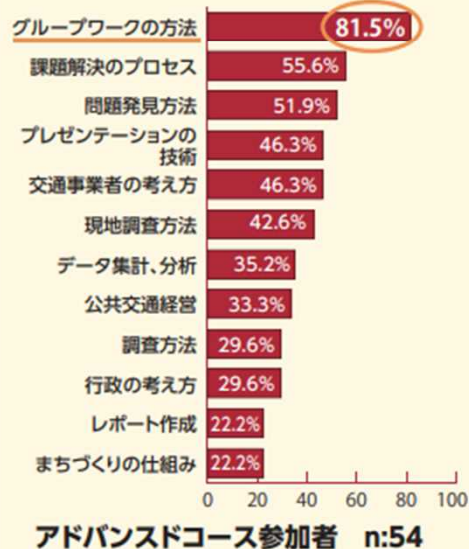
参加者を対象とした調査結果では、**塾生の満足度は非常に高い。**

複数回受講された塾生も多く、アドバンスドコースが塾生にとって相当魅力的であることが示唆される。

受講を通じて身につけた**知識・スキルの自己評価**について、右図のような成果が得られている。

アドバンスドコースで提案した施策のうち、**事業化された施策も多い**(嵐電等)。

アドバンスドコース実践編によるフィールドでの取り組み(にしき商店街等)は、実質的にフィールドに貢献している。



再生塾を終えての感想

- ◆同じ志を持つ、色々な人たちとの【出会い】
「新たな交流ができた！」
 - ◆知識・考え方等の【習得】・【再確認】
「こんな世界があるなんて…」
 - ◆議論・意見交換等による様々な【気づき】
「余計なお世話では？」→ 今は良いかもしれないが…
「結局、何がしたいのか良くわからない」
 - ◆熱い議論等による【モチベーションの向上】
 - ◆研修全般を通じて【考える力・意識の醸成】
ふだんの仕事を離れての贅沢な時間 チーム全員再生塾中毒
- 得られることはたくさん♪だけど、それなりのしんどさも…
深夜未明に飛び交うメール…
「とんでもないことに足をつっこんだ！」

アフター再生塾！



・叡電(新年合宿)



・加西市現地研修



・大山崎・島本現地研修



・京丹後市現地研修



・海外研修(韓国)



(台湾)

再生塾

日本酒探訪会だより Vol. 10

記念すべき第10回開催

第10回「再生塾・日本酒探訪会」を、令和2年2月8日(土)に、参加者15名(後藤、本田、樋口、森栗、山本、東、澤田、福永、池田、戸田、武田、井上(学)、児玉(宜)、稲留、西窪)(名簿順、敬称略)で、兵庫県西宮の酒蔵を巡るコースで開催しました。この日の薄曇りの絶好の街歩き日和となりました。



アドバンスドコースで 「見る」「考える」「議論する」力、 もっとつけてみませんか？



2022年度
アドバンスドコース
東近江Aチームのみなさん



再生塾・神戸市交通局児玉氏資料

再生塾はまちづくりの名医を育てる場

